



大森六中だより

令和3年 5月号
大田区立大森第六中学校
統括校長 菅野 哲郎
TEL 3726-7155

地球の未来を変える



United Nations
Educational, Scientific and
Cultural Organization

毎朝、正門で生徒に「おはようございます」と声を掛けていると、総じて気持ちの良い挨拶が返ってきます。私は生徒一人ひとりの目を見て「今日も一日頑張って」という応援の気持ちを込めて挨拶しています。中には私よりも先に「おはようございます」と声を掛けてくださる生徒もいます。

一方で、言葉だけの生徒や、お辞儀だけの生徒もいます。反応があればまだ良いですが、無反応の生徒も稀にいます。

やはり嬉しいのは、目が合って言葉とお辞儀が返ってくることです。目が合うと嬉しい理由は、相手に自分が認識されたと思えるからです。

例えば、食卓での家族の会話で、聞き手がスマートフォンに目を奪われている姿は、話し手にとって寂しいものです。

話を聞く時には、相手の目を見てしっかり聞くことが思いやりだと思います。

さて、昨年度の生徒生活アンケートの中で、「学習（授業）が楽しい」という項目で、「よくあてはまる」

と回答した生徒は全校生徒の36.2%、「だいたいあてはまる」は38.5%、合わせて74.6%でした。

本来、学習とは楽しいものです。何故なら、新たな知識や技能を獲得することができて、自分の可能性が広がるからです。一方で、知識の量や技能を他人と比較して、学習意欲が低下する人もいるかもしれません。しかし、比較する相手を他人から過去の自分に変えてみれば、誰しも知識の量や出来るようになった事は確実に増えているはずで、桜の開花がその場所によって異なるように、増え方は人それぞれ。しかし、学習を継続すれば、誰しも必ず「実力のある生徒」になります。

朝礼でお伝えした「人間の能力に上限はない」「積極的に学ぶ」「うれしい、心が躍る、好奇心がそそられる」といった状態を意識する」「人に説明することを意識して学ぶ」「一定の時間を空けて復習を繰り返す」等のことを是非実践してください。そして、身に着けた知識と技能を「地球の未来を変える」ことに役立ててください。

防災の視点から自分たちの地域を見つめなおしました。

3安（スリーあん）を実現しよう～安心・安全・安定～

第2学年 まちなか点検

5月13日にまちなか点検を行いました。今年は新型コロナウイルス感染症拡大のため、残念ながら、自治会の方々や消防隊、消防団の方々と活動を共にすることができませんでした。が、普段何気なく通り、見過ごしてしまっている、街の中の大事な標識や防災に役立つものを、班ごとに自分たちで地域を歩きながら探すことができました。防災の視点から自分たちの地域を見つめ直し、安心で、安全で、安定した生活を送れるようにとの思いを込めて、活動に臨みました。



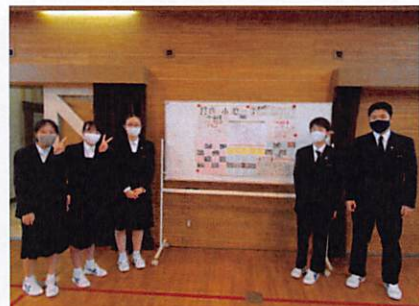
<小雨降る中、笑顔で出発！！>



<あっ消火器発見！！駐車場だ！！>



<この写真使おう！付箋どこに貼ればいい？なかなかいい出来だな。>



<マップ完成しました！>

第11回学校防災訓練

災害時に私たちができること

令和3年5月7日（金）、第3学年で学校防災訓練を行いました。首都直下地震の際に学校が避難所になったことを想定し、避難所班（5つ）・情報班（2つ）・地域活動班（2つ）に分かれて活動しました。班ごとに災害時の意識を持って、迅速に取り組むことができました。



災害時緊急連絡対応の様子



担架で負傷者を搬送する様子



避難場所準備の様子



プールから水を運ぶ様子



実際に取り組まないとわからないことが多くありましたが、避難者に配慮すべきこともしっかり意識して対応することができました。貴重な活動体験を通して学んだことを、実践で活かしたいという意欲が感じられました。

持続可能な社会の担い手づくり

大田区立大森第六中学校 研修ユネスコ委員会

ようこそユネスコスクールへ

今年の入学式は、例年より早い桜の開花で、新緑の下での撮影でした。昨年度とは違い、4月に入学式も行うことができ、無事143名の新入生を迎えることができました。

週開けてすぐにESDオリエンテーションを開き、ユネスコスクールで大切にしていることを学びました。「地域で学び、世界のことを考える」多くの機会を捉え、挑戦し、自分の変容を感じる事がこの3年間の学びで獲得できると良いと思います。

今年こそ、多くの方との交流ができるといいのですが、すべて新型コロナの感染状況によります。感染予防対策をしっかりと取りながらになります。まずはオンラインから始まる予定です。

ユネスコバンコク主催

ASPnet アクションリサーチ

参加国：タイ、ベトナム、日本

今年度はベトナムの中学生と交流を持つ予定です。

SDGsの取組

最近テレビでSDGsを聞くことが増えました。SDGsは「誰も置き去りにしない」をモットーにしているところが、学校での教育理念に通じるところがあります。



令和3年卒業生が考えたSDGs 19番

持続可能な社会を創るためには、自己実現と、地球や人のためになることを地球市民として行うことが大切であると言われていています。持続可能な経済、まちづくり、環境、・・・ありとあらゆる課題が山積し、切り口がたくさんありすぎて、どこから手を付けていいか困るほどです。

中学生は、現状を把握し、課題を解決するための思考力、判断力、表現力を身につける必要があります。中学校3年間の学びが、未来の地球を変えることにつながるのです。

今年度初めての農援隊活動

昨年度はほとんど活動できなかった農援隊の活動ですが、今年4月17日(土)に第1回大岡山花壇メンテナンス活動を行いました。活動開始を地域の方がとても喜んでくれました。休止期間にNPOや商店街の方が整備してくれていたおかげで草むしりと落ち葉拾いも最小限の作業で、1時間ほどの作業で終了しました。これからもきれいなまちづくりに貢献していきたいです。



農援隊は、六中ボランティア団体の名称です。ボランティア活動に興味のある生徒が、活動できる時間に参加します。本校は勝海舟別邸跡地に建ち、幕末志士の海援隊に因んで付けられました。